

マクロビオティックは常に自問自答 大きな視野で、執着せず、楽しく

マクロビオティックも導入して診療にあたっている内科・小児科の松瀬医院は、横浜市金沢区の住宅街の中にあります。昨年12月号の「おたよりひろば」で、院長である松瀬観翁さんの投書を掲載したのが縁で、今夏、機会を得て同医院を訪れました。投書の中で松瀬さんが披露していた「大きな視野で見る。執着しない。楽しくやる」という、マクロビオティックを実践する上での三原則については、「なるほど」とうなずかれた読者もいたことでしょう。大きな声で元気よくしゃべる松瀬さんに、持論でもあるそのマクロ三原則のほか、現代医学とマクロビオティックとの関係などについて語っていただきました。

松瀬医院院長

松瀬 観翁さん



まつせ・かんおう

1960年横浜市生まれ。85年金沢医科大学卒業。東邦大学で小児科を研修後、横浜赤十字病院で内科を研修。99年、父の後を継ぎ松瀬医院院長となる。日本医師会認定健康スポーツ医、日本温泉気候物理医学会温泉療法医、日本旅行医学会認定医などの資格をもつ。<http://www.matsuse-iin.com>

「魔法のメガネ」を「 読んだのが始まり

—マクロビオティックとの出会いについて、最初にお聞かせ下さい。

大学の先輩である鶴見隆史先生（鶴見クリニック院長）から教えていただいた「魔法のメガネ」（桜沢如一著）を読んだのがきっかけです。そこには陰とか陽とかという言葉が書かれていて、実に不思議な物語だと思いました。

望診法や手当て法は、大森英一先生のビデオを見たり、セミナーに参加して学びました。マクロビオティックで病気治療ができるところから、何とかマクロだけで病気が治せないかと、本気で考えたこともありました。それが間違いであると気づいたのは、医療相談を重ねてからの

ことです。

マクロとは「大きい」「長い」、ビオは「生命」、ティックは「術」「学」という意味です。つまりマクロビオティックとは、長く生きるための方法、一種の長寿法といつたものになります。ただし、昨今、ちまたにあふれているような「何々が病気を治す」

とか「体に良い」といった、治療法や健康法を指しているのではありません。マクロではもつと大きな視野で生命を見ています。

マクロでは玄米食を勧めていますが、それは大きな視野で見た時に出てきた一つの結論であり、玄米食からスタートしているわけではありません。以上のことを踏まないと、誤解が生じ、マクロという言葉だけが一人歩きしてしまいます。

「宇宙の秩序」を読めば、マクロが単なる長寿法ではないことがおわかりいただけると思います。大きな視野で見るためには、魔法のメガネを手にする必要があります。このメガネは、

宇宙の秩序に従い すべては変転する

—先生は、①大きな視野で見る②執着しない③楽しくやる、という「マクロ3原則」を唱えられていますが。

マクロの創始者である桜沢氏

は、大きな視野で見ることの大切さを「宇宙の秩序」で説明しています。桜沢氏は「宇宙には七つの原則と十二の法則（無双原理）がある」と言っています。すべてはこの秩序のもとに存在し、あらゆる現象はこの法則に従つて変転していくのです。

病気治療においては必要なことがあります。ただし、あらゆる現象はこの法則に従つて変転していくのです。マクロが単なる長寿法ではないことがおわかりいただけると思います。大きな視野で見るためには、魔法のメガネを手にする必要があります。このメガネは、

だれもが手にすることができます。

魔法のメガネ（ものの見方、考え方）が曇つたりすると、色メガネだつたりすると、誤った選択をしてしまいます。私が「ヲタクマクロ」と呼んでいる人は

思考方（ものの見方、考え方）が曇つたりすると、誤った選択をしてしまいます。私が「ヲタクマクロ」と呼んでいる人は

鼻水や咳、痰が出ている時、お腹の具合が悪くて吐き気や下痢がある時、これらの症状が陰性だとわかれれば、果物や甘いお菓子、乳製品を摂らないようにするのも、立派な食事療法なのではないでしょうか。

健康ヲタクーだと思われるのが心配

食しているから健診や予防接種は不要だと主張します。しかし、学校などで伝染病が流行すると逃げ回っています。いつも免疫をつけなければならないわけですから、実に矛盾したことをやっています。

生まれた時から正しい食事を

していれば病気にかかりにくい

のは事実だと思います。予防接種を受けるか受けないかも本人の自由です。本人はそれでいいかも知れません。病気にかかるかも知れません。

でも、予防接種には、他人や社会に対して、病気を広めないという目的もあります。

ヲタクマクロの人たちは自己

中心的であり、そして高慢です。母子手帳に無料券がついているにもかかわらず、子供の意志ではなく、母親の意志で初めから

予防接種はしないと決めています。そして副作用だけを主張し

ます。自分に有利な情報だけを集めているので、やがて孤立していきます。執着している人は、

知らず知らずのうちに不幸に巻き込まれていても気がつかないのです。

こういう人たちが増えると、

マクロが単なる「健康ヲタク」

だと思われてしまうのではない

かと、私は危惧しています。

執着していれば、マクロが楽

しくやつていれば、夫婦離婚な

くてことは絶対ありえません。

陰は陰を排斥し陰は陽を牽引

する（磁石のN極とS極は反発することを知つていれば、こんなばかげた治療はしないはずです。言い換えるなら、ガンの治療法は、温熱療法（湯治における岩盤浴）のような、陽性のものでなければならないわけです。しかしやつていれば、夫婦離婚なくてことは絶対ありえません。陰は陰を排斥し陰は陽を牽引する（磁石のN極とS極は反発することを知つていれば、こんなばかげた治療はしないはずですね。犬と散歩している時、お風呂に入っている時など、リラックスしている時には、今まで解けなかつた問題の答えがふと浮かんできたりします。一人ひとりが魔法のメガネを手に入れればわかります。マクロは楽しめます。きっとあなたや家族に幸福をもたらしてくれます。

食事療法にしても、低血圧や

低体温の人に、豆腐や納豆などの大豆製品は注意した方がいいと助言する医者はまずいません。

「大豆製品は理想的な植物性タンパクなので、動物性と合わせバランスよく摂つて下さい」、「イ

ソフラボンを含有し、低カロリーでヘルシーだから積極的に摂つて下さい」などと言つています。個人の体質については何も考えてはいないと言えます。

今、医師や栄養士はほとんど極陰性の放射線や抗ガン剤を使っています。これはガン細胞を

現代医学には陰陽の哲学があ

りません。ガン（肉腫は除く）は陰性であるにもかかわらず、

解体させるものは発ガン剤であ

るということを無視しています。陰は陰を排斥し陰は陽を牽引する（磁石のN極とS極は反発することを知つていれば、こんなばかげた治療はしないはずですね。犬と散歩している時、お風呂に入っている時など、リラックスしている時には、今まで解けなかつた問題の答えがふと浮かんできたりします。一人ひとりが魔法のメガネを手に入れればわかります。マクロは楽しめます。きっとあなたや家族に幸福をもたらしてくれます。

■ interview room

のとれた食べ方をするのであれば、何をどう食べても良いと言います。

現代栄養学が食べものをそのようにしか見ないのは、目に見え難い生命現象の最も重要な部分を見ないで、結果だけを問題にしている何よりの証拠です。

食べものは生きもの（食物エネルギー）であることに気づいてはいません。それ故にエネルギー（エネルギー）と栄養素（成分）さえ適切ならば、どのように食べよう構わないという指導や献立となっています。

食事指導のできる医者ほとんどなく

昔は、病人に、食べて良いもの、ダメなものをきちんと注意したり禁止したりする医者がいました。ところが、陰陽の哲学

対症療法といえども多くの人が助けられていることには何もふれません。そして我流のマクロを続けていくのです。

現代医学とマクロ

どちらも必要では

よく放射線や手術は嫌だから食事や健康食品で何とかならないかと相談されます。しかし、食事療法には限界があります。

失敗しても成人病なら悪化するだけですむかも知れませんが、

ガンなら、手遅れとなつて取り返しのつかなくなることも少なくありません。

医者は、手術可能な時期だか

ら手術を勧めるのであって、ガンが転移したらよほどのことがない限りやりません。また、不必要な放射線などを浴びたい人

もいません。

インフォームドコンセント（説明と同意）という言葉がありましたが、患者さんからしてみれば、

同意ではなく選択となってしまふことが多いのです。例えば、ガンの治療法では、手術、抗ガン剤、放射線という三つからしか選択できないことが非常に多い。

診断を受けることと治療を受けることは、必ずしもセットで考へる必要はないと私は思います。診断だけ受けて治療は受けないという選択だつてあるのではないでしょうか。

現代医学とマクロは対立すると言う人がいらっしゃいますが、私はそうは思いません。現代医学とマクロは車の両輪のように相補的であり、どちらかが欠けてもダメだと思います。

こう考えたらどうでしょうか。医者に任せるとこは任せて、自分ができることはできるところから始める。

先ほど述べた、鼻水や痰が出ている人の話で言えば、鼻水や痰をとめるのは、医者からもらった薬でできても、鼻水や痰を

つくらなくすることは患者自身にしかできないのです。食べものに対する考え方は異なつても、食事療法は現代医学にもあります。食事療法は自分の意志と家族の協力だけでできる、最も基本的な治療であることに変わりはありません。

日常の行いの中に人生の大事故はある

—マクロビオティックをどこまで自分のものにするかということが問われそうですね。

マクロの名前だけが一人歩きしている例があります。「マクロビオティック・ダイエット」などがそうです。陽性なものを食べながらしているわけですから、考えようによつては一番安全かも知れません。でも本物のマクロではありません。健康食

見落としやすいですが、日常的なことの中にこそ、本物は存在するのです。

マクロの名前だけが一人歩きしている例があります。「マクロビオティック・ダイエット」などがそうです。陽性なものを食べながらしているわけですから、考えようによつては一番安

間違ひをおそれず自分之力で考える

つくらなくすることは患者自身にしかできないのです。食べものに対する考え方は異なつても、食品を選ぶにしても、買う人は魔法のメガネの精度を問われます。

中国の宋の時代、慈明という禪宗の高僧に、弟子の黄龍といふ人が「結局、人生の大事とは何でしょうか」と聞くと、師は「着衣喫飯、痢屎送尿」と答えたそうです。着る、食う、大小便を出す。こうした何でもない日常のことを立派に行うのが、一番大切なことです。

私たちはとかく身近なものは見落としやすいですが、日常的なことの中にこそ、本物は存在するのです。

よく陰陽の判断は難しいから食事療法はできないと言われる方がいますが、中学生ぐらいの知識と觀察力があればだれにで

は、企業としては当然でしょう。健康食品を買うにしても、

魔力のメガネの精度を問われます。

もできます。

赤いものは陽性とだけ覚えている方には、リンゴもサクランボもスイカもみんな陽性になってしまいます。色だけではなく、大きいもの・水分が多いもの・暖かい地方で育つもの・カリウムが多いものは陰性だと知つていれば、スイカを陽性だと答える人は少ないと思います。

「魔法のメガネ」にも書いてある通り、大切なのは、自分の力で考えることです。正しい答えを出すことが重要なのはありません。言うまでもなく、最低限の知識がなければ考えるこ

となどできないわけですが、豊富な知識と思考力とは必ずしも比例関係はないのです。間違いを恐れてはいけません。私なんとか間違いの連続ですよ。

陰陽の学校では、自分が教師であり、また生徒でもあります。マクロとは自問自答なのです。そうは言つても、指導してください。先生はいた方がいいと思いません。一人で一から全部学んで

いくというのは大変ですから。自分でできるところから始めて下さい。正しいマクロを身につけて、楽しい毎日を送られるこ

先日、大森英樹先生が亡くなられたという悲しいお知らせがありました。初心者の時から先生には本当にお世話になりました。望診法や姓名学だけではなく、先生から教わったことは数えきれません。「易」は占術ではなく、無双原理の応用であることを、ものの見方、考え方を通して教えていただきました。

最初は医者がお嫌いのご様子でしたが、万座温泉で開かれたセミナーの時には、私がまとめたノートをご覧になり、「〇・一・二・三」とサインして下さいました。私にとつては偉大な師匠

であり、また、雅号の「観翁」の名づけ親でもあります。

「翁」という字は大森先生を意味し、師匠を「観」て仰ぐとほどに、着るものは寒さをしげだけ」といつた言葉が似合う、人間的にも本当に温かい素朴な先生でした。とても残念でなりません。今後は不肖の弟子の一として精進していきたいと考えています。

アボロsymmコンセント

ナノテクノロジーが生んだ21世紀の最新技術
モックタイナード！ 電磁波をカットするなんて？！

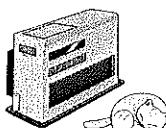


ご購入者の声

- 【テレビ】 子供がゲームをしていても気にならなくなつたわ
- 【パソコン】 目が疲れないよ
- 【携帯電話】 これで充電すると耳や頭が痛くならない
- 【冷蔵庫】 鮮度が長持ちするの
- 【炊飯器】 ふっくらおいしくなるし いたみにくくいよ
- 【ドライヤー】 つやつや、サラサラの髪になるのだ
- 【洗濯機】 汚れ落ちが良くなつて洗剤が少なくてすむの

- 【電気カーペット】
- 【ファンヒーター】 長時間使用しても体が楽です

お問い合わせ・資料請求は
下記まで 卸、小売



自然食品の店 ヒノモト

〒910-0032 福井県福井市堀の宮1-803
TEL0776(21)3811 FAX0776(27)6888
<http://www.earth-design.jp/hinomoto/>
E-mail hinomoto@sky.hokuriku.ne.jp